

百里飛行場(茨城空港)の民間共用

事業の目的及び概要

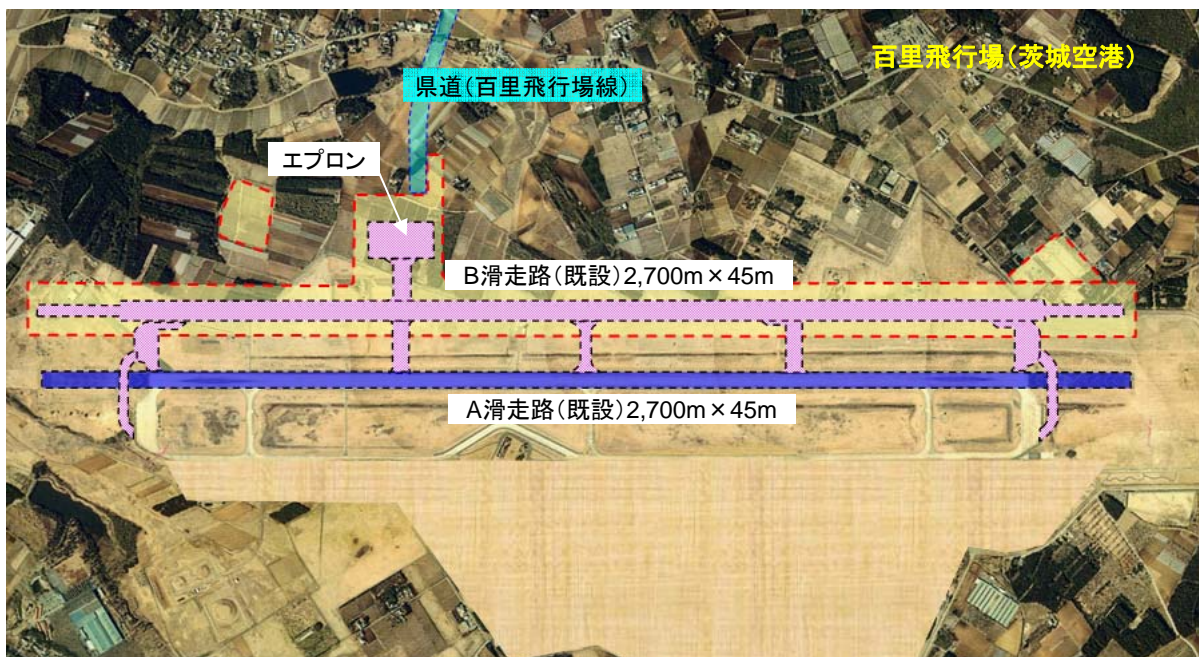
首都防衛を担う百里飛行場(航空自衛隊百里基地)に民間航空機のための飛行場施設の整備を行いました。

効果

首都圏の空港需要増大に応えるばかりでなく、北関東の利便性向上にも資することが期待されます。

主な施設の概要

種別(設置管理者)	自衛隊共用空港(防衛大臣)
滑走路	A滑走路(既設)2,700m×45m B滑走路(新設)2,700m×45m
供用開始時期	平成22年3月11日



用語の説明

エプロン: 航空機を駐機させるための場所の総称

東京国際空港(羽田空港)の整備

■事業の目的及び概要

東京国際空港(羽田空港)は、国内航空旅客の約60%が利用する国内航空輸送ネットワークの要であり、既にその能力の限界に達しています。

このため、新たに4本目の滑走路を整備するとともに、誘導路や国際線対応のエプロン等の整備を進めています。

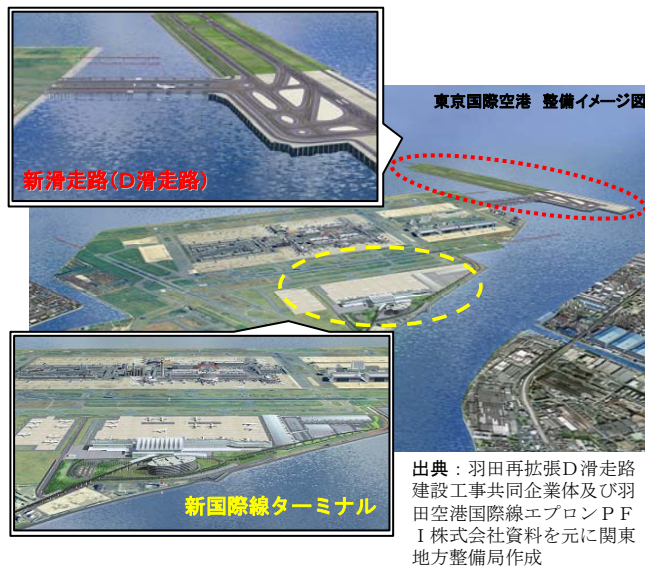
※国際線対応のエプロン等の整備は、民間資金等活用空港整備等事業(PFI事業)で実施しています。
(旅客・貨物ターミナル地区もPFI事業にて実施)

■平成22年度事業

平成22年10月の新滑走路等の供用に向け、舗装等の最終的な整備を行います。

■効果

新滑走路及び国際ターミナル等が完成することにより、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成・多頻度化による利用者利便の向上、航空市場における真の競争を行わせるための環境整備、都市の国際競争力強化(都市再生)、地域交流の促進、地域経済の活性化が期待されます。



新国際線地区整備の状況



写真：関東地方整備局東京空港整備事務所 撮影

D滑走路整備の変遷



写真：関東地方整備局東京空港整備事務所 撮影

●用語の説明

エプロン：航空機を駐機させるための場所の総称

民間資金活用事業(PFI事業)：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う手法